

## (6) アスファルト合材

### 新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和4年度10月～12月期の出荷状況は県全体で325千t、前年同期比6%減となり21千t減少した。4月～9月の上半期は昨年をやや上回る出荷量で推移したが、今期のお荷量減少によって累計出荷量においても昨年対比7千t減少となった。

地区別では中越地区が2千t増（前年対比102%）下越地区が3千t増（同102%）、佐渡地区が0.1千t増（同105%）と3地区合計で約6千t増加しているものの、上越地区において前年対比60%、2.6千t減と大幅な減少となっていることが県全体の出荷量にも大きく影響している。

上越地区は今期だけでなく、4～6月期は9千t減（前年対比81%）、7～9月期は24千t減（同61%）と大幅に減少しており、令和4年度累計で60千t減、前年対比66%と非常に厳しい市場環境となっている。1～3月期は降雪で施工が困難な時期となるため大きな挽回は期待できず、アスファルトや骨材などの資材高騰による原価上昇と市場環境の著しい需要減少が重なって各地区工場の経営環境は非常に厳しい状況となっている。

原価上昇による販売価格の改定については物価版の改訂等も影響し徐々に反映されつつあるが、長期現場における単価スライドの適用が積極的に実施なされているとは言い難く、アスファルト合材工場の負担は依然として重い。今後予想される電気料金の値上げや燃料油価格激変緩和措置の終了によって更に経営環境は厳しさを増すと予想される。

1～3月の動向は昨年並みに順調に推移すると想定されるが、円安や資材高騰による民需の減少や天候不良等による工期の遅れ等が発生し出荷量が減少した際は、新潟県全体のアスファルト合材需要が年間100万tを割り込む可能性を含んでいる。

### 富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和4年度10月～12月期、出荷状況は、県計で11万5千tで前年同期と比べ21%の減となった。地区別でみると東部地区が6万4千tで23%の減。西部地区が5万1千tで18%の減となった。

今後も動力費である電気料金の値上げなどで工場経営の環境はさらに厳しさを増して引き続き不安要素が多く余談が許さない状況。

またアスファルト関連の物件について、高速道路等一部で需要はあるが今後の見通しは不透明である。

### 石川県

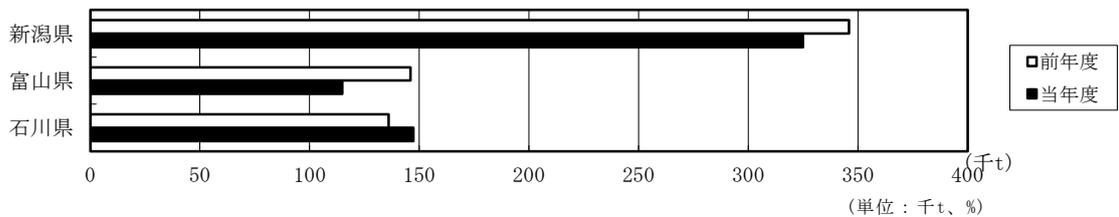
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和4年度10月～12月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比7%増、能登地区で前年比19%増石川県全体では前年比8%増、前年道時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、石川県全体としても出荷量が増加した。今期は比較的天候にも恵まれ順調に出荷されたと思われる。

主要材料であるアスファルト価格は、主要国の景気見通しの不透明感があり、また円安による原材料費の高騰、ロシア、ウクライナ情勢の長期化も重なり引き続き不安要素が多く予断を許さない状況。

またアスファルト関連の物件について、今後の見通しは不透明である。

アスファルト合材出荷量の推移（10月～12月期）



県	地区	令和3年度 年計	令和4年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	13	▲20	▲38	▲39		▲34
		176	39	38	40		117
	中越	3	24	▲3	3		5
		253	67	92	107		266
	下越	▲6	2	21	2		8
		426	124	164	172		460
佐渡		5	40	75	▲14		25
		16	7	7	6		20
	県計	0	3	2	▲6		▲1
		871	237	301	325		863
富山県	東部	7	▲7	▲10	▲23		▲14
		237	66	74	64		204
	西部	▲12	▲10	▲4	▲18		▲11
		164	45	50	51		146
県計	▲1	▲8	▲7	▲21		▲13	
	401	111	124	115		350	
石川県	加賀	9	▲17	17	7		2
		295	84	99	116		299
	能登	1	▲15	11	19		7
		67	16	24	31		72
県計	5	▲16	16	8		2	
	363	100	123	147		371	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

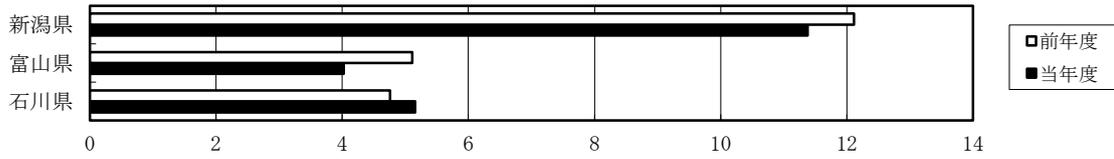
会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

# ◎参考資料

## アスファルト出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和3年度 年計	令和4年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	13	▲20	▲38	▲39		▲34
		6.2	1.4	1.3	1.4		4.1
	中越	3	24	▲3	3		5
		8.9	2.3	3.2	3.7		9.3
	下越	▲6	2	21	2		8
	14.9	4.3	5.7	6.0		16.1	
佐渡		5	40	75	▲14		25
		0.6	0.2	0.2	0.2		0.7
県計	0	3	2	▲6		▲1	
	30.5	8.3	10.5	11.4		30.2	
富山県	東部	7	▲7	▲10	▲23		▲14
		8.3	2.3	2.6	2.2		7.1
	西部	▲12	▲10	▲4	▲18		▲11
	5.7	1.6	1.8	1.8		5.1	
県計	▲1	▲8	▲7	▲21		▲13	
	14.0	3.9	4.3	4.0		12.2	
石川県	加賀	9	▲17	17	7		2
		10.3	2.9	3.5	4.1		10.5
	能登	1	▲15	11	19		7
	2.3	0.6	0.9	1.1		2.5	
県計	5	▲16	16	8		2	
	12.7	3.5	4.3	5.2		13.0	

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量(千t) = アスファルト合材量(千t) × 3.5%」